

バロック・アンサンブルの精緻



鶴見
de
古楽

～ムジカ・レセルヴァータによる テレマンニパリ・カルテット

Program

G.Ph.テレマン パリ・カルテット
(1730 ハンブルク四重奏曲) より

協奏曲 第二番 ニ長調

ソナタ 第二番 ト短調

組曲 第二番 口短調 他

9/11 2020 金

鶴見区民文化センター
サルビアホール3f 音楽ホール

開場 18:30／開演 19:00

全席自由

〔全50席限定〕

¥3,900 (税込) / ペア ¥7,300

※本演奏会は現金振込のみ申込受付しております



[イベント情報] <http://urx.blue/Ykcb>



メール申込 info@viagalleria.or.jp

主催 (一社) VIA GALLERIA
後援 日本チェンバロ協会

本日の公演に寄せて

～ ムジカ・レセルヴァータによる テレマン=パリ・カルテット ～

鶴見 de 古楽、初の 4 名アンサンブル登場です。既に CD もリリース、10 年の歴史と実績に彩られた熟達の古楽アンサンブル＝ムジカ・レセルヴァータがついに鶴見のステージに登場します。メンバーは、鶴見 de 古楽の名手たち、国枝俊太郎(リコーダー、トラヴェルソ)、高橋弘治(バロック・チェロ)、岡田龍之介(チェンバロ)に加え、バロック・ヴァイオリンの日本草分け：小野萬里の名手ぞろいのカルテット。その年季の入ったアンサンブルの熟成と音楽的な深さ、そして躍動に富んだ迫力、他のアンサンブルではなかなか聴けない真骨頂の精緻をお届けします！熟成のアンサンブルの中にも、個々の奏者の個性も伸びやかにぶつかり、かつ融合し、音楽の持つ本当の樂興と迫力をお聴き頂きます。しかも、選曲はバロック器楽合奏の粹、当時の音楽界スーパースター、ファン垂涎のテレマン=パリ・カルテットからの選集です。どうぞ、お聞き逃しの無いよう！ 古楽がこんなに生き生きと迫力に満ち、そして楽しいとは！！

ご来場の皆様へ感染対策のお願い

当演奏会は、サルピアホールのコロナ感染防止対策に則り、収容定員 50 名の開催とさせていただきます。演奏会にはマスク着用でお越し頂き、マスクの無い方は受付にてお受け取りください。また、ご来場の際は、検温、手洗い、手指消毒(消毒液を受付に備付しております。)など、ご協力をお願い致します。なお、発熱・咳・全身痛などの症状がある場合にはご来館をお控えください。当演奏会はチケットがございません。事前振込によるご来場者リストによってご入場頂きます。



Profile

小野萬里

[バロック・ヴァイオリン]

東京藝術大学卒業。ヴァイオリンを多久興氏に師事。在学中バロック・ヴァイオリン・古楽の研究を始め、1973 年ベルギーでシギスヴァルト・クイケンに師事。帰国後ソリスト、アンサンブル奏者として、また東京バッハ・モーツアルト・オーケストラやバッハ・コレギュム・ジャパンなど国内主要オーケストラで活躍。99 年バロック・ヴァイオリニスト木村三穂子氏とヴァイオリン・デュオ「Due Canti」を結成、日本・ドイツでコンサートツアーを行なっている。ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者アウグスト・ウェンツィンガー やエデュアルト・ミュラー、テノール歌手のクルト・エクイルツ、リコーダー奏者のフランス・ブリュッヘン、多田逸郎、小林道夫、故大橋敏成各氏など古楽パイオニアたちと共に演を重ねた。現在は古楽アンサンブル「コントラポント」、「アンサンブル・デュファイ」、「クラシカル・プレイヤーズ東京」、「チパンゴ・コンソート」、「Due Canti」、「ムジカ・レセルヴァータ」メンバー。ニューセンチュー室内管弦楽団トレーナーを務める。

高橋弘治

[バロック・チェロ/5弦チェロ・ピッコロ]

桐朋学園大学音楽学部卒業、ブリュッセル王立音楽院古楽器科修了。2001 年から 2007 年まで「ラ・プレティット・バンド」のメンバーとして演奏活動を行う。2018 年に開催した「J.S. バッハ 無伴奏チェロ組曲演奏会 vol.1」では「音楽の友」誌で高評価を得るなど活発な演奏活動を行う。また最近ではフラウト・トラヴェルソ奏者の J.de.ヴィンネ、バロック・オーボエ奏者の M. ポンセール、歌手の A. ディールティエンス、チェンバロ奏者 B. ナーセンス、バロック・ヴァイオリン奏者の D. モンティ、元イ・ムジチ合奏団コンサート・マスター F. アゴスティーニなど海外アーティストとの共演機会も増えている。現在、古楽アンサンブル『ムジカ・レセルヴァータ』メンバー、桐朋学園大学音楽学部附属「子供のための音楽教室」名古屋教室講師。

国枝俊太郎

[フラウト・トラヴェルソ]

リコーダーを安井敬、フラウト・トラヴェルソを故 中村忠の各氏に師事。1995 年開催の第 16 回全日本リコーダー・コンテスト「一般の部・アンサンブル部門」にて金賞を受賞。これまで東京リコーダー・オーケストラのメンバーとして数々のコンサートに参加し、NHK 教育テレビ「ふえはうたう」「トゥトゥアンサンブル」に出演、CD 録音にも加わっている。また「ムジカ・フラウタ」のメンバーとしても、NHK-FM「名曲リサイタル」に出演する。現在はバロック室内楽を中心に、古楽器オーケストラによる数々の演奏会に出演するなど、幅広く活動を行っている。

バロックアンサンブル「クラングレーデ」「ムジカ・レセルヴァータ」メンバー。

岡田龍之介

[チェンバロ]

慶應義塾大学経済学部卒業後、東京芸術大学楽理科卒業、同大学院修了。音楽学を角倉一朗、チェンバロを有田千代子、渡邊順生各氏に師事。1983 年ジャン・ジャック・ルソー「村の占い師」オペラ（原語本邦初演）でデビュー後、国内外で多数演奏を行い、フェデリコ・アゴスティーニ、シギスヴァルト・クイケン、D. ブリュッヘンら国内外の優れたソリスト、バロック奏者とのアンサンブルで培った通奏低音の表現力は高く評価されている。近年は教育活動や、講演会・執筆などを通じた普及活動も積極的に進め、NHK-FM にも出演。韓国ソウル国際音楽祭、アリオン・レクチャーコンサート、柄木「蔵の街」音楽祭、日白バ・ロック音楽祭、北とびあ国際音楽祭、みなと・横浜バロックシリーズ、金沢史跡コンサートに加え、韓国やドイツにも広く客演している。第 13・23 回古楽コンクールでチェンバロ部門審査員を務めている。ソロ CD「銀色の響き」はレコード芸術誌準特選に選ばれ、これまでに 10 枚の CD をリリースしている。洗足学園大学・都留音楽祭各講師、古楽アンサンブル「ヴィアッジョ・ムジカーレ」「ムジカ・レセルヴァータ」主宰、鴻巣 FM 放送「クラシックの散歩道」メインパーソナリティー。ザロモン室内管弦楽団指揮者。日本チェンバロ協会会長。

お申込み

[ホームページ・イベント情報]

<http://urx.blue/Ykcb>



電話申し込み

tel. 045-961-0813 (岡田)

[銀行振込でのお支払い(およびペア券申込)]

<http://urx.blue/7wff>



メール申し込み

info@viagalleria.or.jp

お問合せ

[メール] info@viagalleria.or.jp [電話] 045-961-0813 岡田 [ホームページ] <http://viagalleria.or.jp/>